



FM802
10th ANIVERSARY
FUNKY
INDEPENDENT
THEATRE
公開第1弾

LA インディペンデント フィルム フェスティバル'98 正式出品作品

RESTAURANT

レストラン

Produced by: Palisades Pictures/Giv'en Films/Chaiken Films
Directed by Eric Bross

1999年ハリウッドが最も注目する期待の俳優。

ADRIEN BRODY

エイドリアン・ブロディ

- 4月公開「サン・レッド・ライン」出演
- 1999年全米公開スライク・リー監督の話題作「Summer of Sam」主演決定!!



1999年全世界が最も注目する話題のスーパースター、第41回グラミー賞女性史上最多の5部門受賞の快挙。

LAURYN HILL

ローリン・ヒル

- 「天使にラブソングを2」出演



CAST

エイドリアン・ブロディ
エリセ・ニール
デヴィッド・モスコウ
サイモン・ヘイカー・デニー
ローリン・ヒル

STAFF

監督: エリック・ブross
脚本: トム・カドワース
製作: H・M・コークリー
シャナ・STEIN

製作総指揮: マーク・D・セヴェリーニ
ケイリー・J・ハレルモ
カマル・ニダーホッフ
マイケル・フリッシュ
撮影監督: ホレイシカ・マルキネス
編集: キース・リーマー

1998年/アメリカ/カラー/108分
©1998 RESTAURANT PRODUCTIONS

fab films
提供・お問合せ: ファブ・フィルムズ株式会社
TEL 03-5722-5323



Cast (in credits order)
Adrien Brody....Chris Calloway
Elise Neal....Jeanine
David Moscow....Reggae
Simon Baker-Denny....Kenny
Catherine Kellner....Nancy
Malcolm-Jamal Warner....Steven
John Carroll Lynch....John English
Jesse L.Martin....Quincy
Sybil Temchen....Lenore
Vonte Sweet....Marcus
Michael Stoyanov....Ethan
Elon Gold....Kurt
Lori Heuring....Donna
Lauryn Hill....Leslie

Written by
Tom Cudworth

Director of Photography by
Horacio Marquinez

Original music by
Theodore Shapiro

Production Design by
Steven McCabe

Costume Design by
Elizabeth Shelton

Film Editing by
Keith Reamer

Produced by
H.M.Coakley
Shana Stein
Eric Bross

Executive Producers
Mark D.Severini
Gary J.Palermo
Galt Niederhoffer
Michael Brysch

Co-Producer
Jennifer Chaiken

夢の街 "マンハッタン" まで、15分・・・。
ニュージャージーのレストラン。そこで生きる若者達の物語。



RESTAURANT

レストラン



STORY

クリス・キャロウェイ (エイドリアン・ブロディ)、25歳。ニュージャージー・イデオロギーのレストランでバーテンダーとして働きながら、脚本家として成功する日を夢見ている。

その夜、クリスは、恋人だったレスリー (ローリン・ヒル) に電話をし、友達のケニー (サイモン・ペイカー・デニー) と浮気した事を責めてしまった。

自己嫌悪に陥ったクリスは酔いつぶれ、次の日は一度も目を覚まさずに眠り続けた。

クリスがレスリーとの別れを描いた芝居の記役を決定するオーディション当日に、クリスは一日寝過ごし、会場に立ち会えなかった。そして、なんとケニーが主役の座を射止め、クリス自身を劇中で演ずることになったのだ。

パーティーでこのニュースを聞いたクリスは、ケニーに打ち明ける。その場には、プロを目指す黒人歌手でキュートなレストランの新人、ジャンニン (エリゼ・ニール) も居た。

クリスがパーティーから飛び出すと、彼のことが気になるジャンニンは後を追う。急速に惹かれあう二人。ジャンニンが即興で素晴らしい歌を披露し、そして二人はマンハッタンを臨む部屋で初めて結ばれる。

クリスは悩んでいた。芝居の結末が書けないのだ。しかもレスリーとの思い出がジャンニンとの新しい関係を邪魔する……。

夢の街"マンハッタン"までわずか15分程のところに位置するニュージャージーで繰り広げられる、現代アメリカの若者達の夢を描く、最高にオシャレな映画がここに誕生した。

夢の街 "マンハッタン" まで、15分……。
ニュージャージーのレストラン。そこで生きる若者達の物語。

1999年ハリウッドが最も注目する期待の俳優。
伝説の天才監督テレンス・マリックの "シン・レッド・ライン" の主役陣に抜擢。



ADRIEN BRODY

エイドリアン・ブロディ
クリス・キャロウェイ役

1999年全米公開
スパイク・リー監督の話題作
「Summer of Sam」
主演決定!!

デリー・バラエティ誌は、98年秋アメリカで公開されたエリック・ロス監督作品「Ten Benny」(旧題: Nothing to Lose)を取り上げ、そこに出演していた映画スター、エイドリアン・ブロディを次のように絶賛している。「この作品はアドリエのカリスマに満ち溢れている。彼はまさにスターになるべくして生まれきた。強烈な存在感と動物的なルックスに惹かれ、若き日のデ・ニロやロアル・バチーノのような、初々しくも天性の才能を発揮していた」。そして彼は予言を實現した。テレンス・マリック監督作品「シン・レッド・ライン」では、ジョン・ベン、ジョン・トラボルタ、ジョージ・クルーニー、ニック・ノルティ、ウディ・ハレルソンと並んで主役を務め、またスパイク・リー監督の話題作「Summer of Sam」にも主演している。

「シン・レッド・ライン」でブロディは、原作者自身であると思われる兵士ファイブを演じている。夏休みの学生・ジョーは、1942年ガダルカナル戦での自らの体験をもとにこの小説を書き上げた。「シン・レッド・ライン」ではフェイク・ピクチャーズ製作、20世紀フォックス配給で1998年12月に公開された(日本の公開は99年4月)。「Summer of Sam」では、思わぬ殺人事件の最中に、マンハッタンの中で起こる騒動に巻き込まれていくブルongsの住人演じている。

ブロディは映画に出演する度に、常に映画関係者や評論家達から絶賛されている。たとえば99年上半に公開が予定されている、アダム・バースタイン監督作品「Six Ways to Sunday」ではノーマン・リーズと共演し、また98年のロサンゼルス・インディペンデント・フィルム・フェスティバルで公開された、エリック・ロス監督の本作品「レストラン」では特許を浴びた。デリー・バラエティ誌は更に「素晴らしい主役、ブロディの感情のこもった演繹と細身の体は、最近のアメリカ男優というより、ジャコブ・ニコルソン、ジェラルド・フィリップ、ウィットリオ・ガスマンといったヨーロッパの往年の名優を彷彿とさせる。非常に魅力的で、カリスマがある」とも評している。最近では、モーラ・ティアーニと共演したインディペンデント映画「Oxygen」の撮影が終了したところである。

レンズを向けられることは、ブロディにとっては自然なことであった。彼の母親である写真家シルヴィア・ブラシーが、幼少の頃から彼のスナップを撮り続けていたからである。ニューヨーク市で生まれ育ち、12歳の時American Academy of Dramatic Arts (アガア アグ アグ アグ)の土曜クラスに参加、13歳で映画「Home at Last」の主役レジーナを演じ、その同じ年には舞台芸術の名門校リカーン・センターの演劇科に入学を許可される。そしてブロディ15歳の時、メアリー・タイラー・ムーアに抜擢され、コメディ番組「Annie McGuire」に登場する彼女の継子ニー役を好演、その後番組の撮影のためロサンゼルスへ移る。

1989年ニューヨークへ戻り、フランシス・フォード・コッポラ監督の「ニューヨーク・ストーリー」などの小さな役をいくつかこなした後、ステューヴン・ソダーバーグ監督映画「わが街 セントルイス」でセクシーな街の住人レジーナ役を演じた。翌年にはヒット世代を描いた映画「死にたいほどの夜」ではキアヌ・リーブス、トーマス・ジェーン、クレア・フォランらと、また「ハード・ブレイク」に義経を演じた。これはミック・ロウとトゥーバック・シャクルと共演している。

1999年全世界が最も注目する話題のスーパーstar。
第41回グラミー賞女性史上最も5部門受賞の快挙。



LAURYN HILL

ローリン・ヒル
レスリー役

フーシーズのサウンド、スタイル、そしてスピリットは、モダンで都会的なメロディーを作るためによく使われ、ありがちな手段を上手に排除している。フーシーズのメンバーは3人、その内の一人が黒人女性ラッパーのローリン・ヒルだ。彼女の甘い歌声は私達に幸せとソウルを運んでくれる。フーシーズはヒップ・ホップの流れを大きく変えた。1993年にアルバム「Blunted on Reality」でデビュー、それまでは、3人共ニュージャージーに住むごく普通の3人の子供にすぎなかった。彼らはいつの日にも成功することを夢見て懸命に働いていた。

ローリンは高校時代にフーシーズのメンバー、プラスヒューと一緒に活動を始めた。その時は15歳で、テレビドラマに出演したりしていた。今や官能的なベテラン女優へと成長した彼女、92年に「King of the Hill」で映画デビューを果たし、翌年にはヒット作「天使にラブ・ソングを2」でウービー・ゴールドバーグと共演、さらに近日公開予定の「Hav Plenty」にも出演している。現在彼女はニューヨークの名門コロンビア大学で学んでいる。

96年、フーシーズのセカンドアルバム「The Score」を発表、ローリンはこのアルバムについてこう語っている。「音だけで作る映画、あたいたかったの。40年代のラジオのように物語になっていて、曲にカットやブレイクが入るのよ、ヒップ・ホップ版(ロック・オペラ)「トミー」とか「Who did for rock & roll」といった感じかしら」。『The Score』はRefugee Camp Productions(ワグ・キワ 7'03'98)がプロデュースしており、ローリンとワイオリがビートの大半を担当、プラスとその他のこのジェリーが共同プロデュースを務めた。

結局、本物のラブファンなら認めなくてはならないのだ。フーシーズはヒップ・ホップの何たるかを具体的に表現しているのである。彼らは誇り高く、独特で、秀逸、誠実で、恐れを知らず、美しい。

ローリン・ヒル待望のファースト・ソロ・アルバム「The Miseducation of Lauryn Hill」は発売した週に43万枚のセールスを記録。女性アーティストとしては、マドンナの記録37万枚を塗り替え、発売週の週間売り上げ記録歴代1位に輝く。さらに全米ビルボードのアルバムチャートでは初登場No.1を獲得、98年のビルボード・アワードでベストR&Bアルバムを受賞した。さらに彼女は、アレサ・フランクリン、ホイットニー・ヒューストン、サンタナなど大物アーティストのプロデュースやコモン・プロモーション・ビデオの監督も務め、その多才ぶりを発揮している。

1999年第41回グラミー賞には、主要2部門(Album Of The Year / Best New Artist)を含む10部門にミネートされ見事に5部門を受賞。グラミー史上女性最多受賞の快挙を成し遂げた今、全世界が注目するスーパーstarである。

エイドリアン・ブロディ
1999年7月初来日予定!!

お問い合わせ

ファブ・フィルムス
TEL:03-5722-5323



ついに登場FM-802 FUNKY INDEPENDENT THEATRE 第1弾、この夏ロードショー決定!

7月下旬
より

心齋橋シネマ・ドウ

クリスタ長堀南10番出口すぐ
ソニータワーB1F

心齋橋シネマ・ドウ:06-6251-3789